事務事業名

支出(歳出)事務

□ 集中改革 プラン関連

□ 全庁横断 課題関連

□ マニフェスト 関連

総合	<u>,</u>	政 策	4	みん	な元気で笑顔	質あふれるま	ちづくり	所屬	禹部 会計		課長名	山戸	宇機夫
計画	ij	施策	24	行財	政改革の推進			所属	属課 会計	 課	担当者名	小辻	康幸
体系	{	基本事業	89	会計(	の適正な処理	1		所属	属班 会計	班	(内線)	1003	
	3.	算科目	会計	款	項目	事業連番	法令 地刀	方自治法、合	志市会計規則	l]	成果優先度	[評価結	果 ⑩
	77-	<b></b>	一般	2	1 8	11148	根拠				コスト削減優生		
绘欠 ⁻	7	開始年度		99年 座	で終了 [	□ 22年度かり	た 関 払 車 型	業期間 □単年	年度のみ	☑単年度繰	区 (開始年度	18	
水宝	1,	用如中皮	Ш 2	22十尺		」 22 年度 //**	り用如	長朔间	□期間限	定複数年度	(	$\sim$	年度)
<b>→</b> i	巨彩	本事業の標	亜 (	目休台	なかめり古	壬順 詳:		完複粉年度	事業は全位	本像を記述)			
		の内容】								川に基づき実施	51 アハス		
I =	尹未	:07円谷】	口心	الحرورا	山(成山)「〜	(関リる事務)	このり、地方に	日心法及ひ口	心川云门及只	明に基 ノご夫が	世している。		
(開始	始1.	た背景・											
		ナ・今後の											
状況	上変化	ヒを含む)											
【 <b>当</b>	と 必	の流れ】	①±1	4.色却:	行为违議重及	び古出命会員	上の家本 の	唐梅老の登録	②油栽後()	0支出命令の東	と 建理と支払い準	. 借	一座振りょり
<b>L</b> ⊿	<b>1</b> 7.	V > 1/1L4 U			出データ作成			見催日の豆琢			E在こ人100千	- иня 🕣 н	コ圧派と「し
				0.1									
主	な	予算費目】	賃金	・旅費	·消耗品費								
		_											
【意	意見	や要望】	特にな	なし									
関係	者	住民、議会、											
事業	対1	象者、利害関											
		からどんな											
		要望が寄せ											
りれ		いるか?											
1	玛	見状把握の	部 (	DO,	PLAN)								
(1)		5事業の目的						新規	・拡充区分				
⊕	-段	(主な活動)	22年	度実績	賃(22年度に行	<sub>了った主な活</sub>	·動) (DO)	23年月	度計画(次年	度に計画して	いる主な活動	b) (PLAN	)
合志	市	の支出(歳	出)に	関する	事務			合志市	トの支出 (歳	出)に関する	事務		
								į					
								į					
$\bigcirc$	汗ョ	h 指煙 (車袋	(車坐)	の活動	量を表す指	運/		(単位) 予算の	カ主な増減の	カ田山			
					び支出命令書					<sup>万年田</sup> 賃金、普通旅	豊の減		
⇒		又四負担门 口座振込 F				すり甘且収数		件	7日 四吋 収貝	<b>貝亚、日</b> ////	貝の版		
	'_					10000000000000000000000000000000000000			5.454m (+1.45	のトナンナキ	:		()24(4-4)
			対象に	- L ( l	ハるのか)*	人や日然質	<b>源寺</b>	②対象	家指標(对象 支出(歳出	の大きさを表	(9 指標)		(単位 <u>)</u> 千円
又正	j (	歳出)金						$\Rightarrow -\frac{1}{2}$	又山(成山	/ 松観			
<u> </u>		-,						¦_¦1	<u> </u>				
					対象をどう変		_			の達成度を表			(単位)
債権	【者	の請求に基	づき、	速やか	いにかつ正確し	こ支払いを行	う。	$\Rightarrow$ $\mathcal{F}$	適正に処理	されていなし	ヽ(不備)書類	負 	件
								: [イ	j 				i 
*3	)成	果指標設定	[の理]	由と23	3年度目標値	設定の根拠							
支出	事	務について	は、正	当債権	<b>権者の請求に</b>	基づき、迅速	に正確に支払	いを行うこと	上が原則であ	り、誤った支	出を防ぐために	こ不備書	類について
は番	査	の段階で厰	しいチ	エック	を行ってい	る。誤った支	出は皆無であ	らるべきである	<b>5</b> 。				
											_ II	<u> </u>	
		f標・総事業	費	)	20年度	21年度	22年度	22年度	23年度	24年度	25年度		
0	の推	移		単位	実績(決算)		目標(当初予算)				見込		
			ア	枚	36, 434	38, 697	40, 000		40, 000		40, 000		
(	(1)	活動指標		<u>  ^</u> 件	28, 243	23, 779	L	L	27, 000		27, 000		
					,					30, 000, 000			
(	2	対象指標			20, 010, 020	∠∪, ∪ <del>∪</del> ∪, ∀0\	50, 000, 000	21, 130, 391	50, 000, 000	50, 000, 000	30, 000, 000	20.	la i
			イ	141	_	_	_	_	_				ータルコスト
(	(3)	成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0		全体計画
	_		イ									^	~ 年度
		国庫支		千円	<b></b>		<b> </b>	<b> </b>		<b> </b>			Λ
	Ę	才 都道府県	支出金	千円	<u> </u>	 	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	1		/
Į.	事	原 地方	債	千円			T			]		期間	/
		り その	他	千円						<b> </b>		間	/
投業	坐 :			千円						<b>†</b>		限完	/
1X =		一般則		千円	157	674	808	1, 640	631	650	650	限定複	/
1X   5	*			千円	157	674	808	1, 640	631	650	650	数	/
					10/							数年	/
入事		(A) 事業			^		. ()	. ()	0	0	0	度	/
入事		(A) 事業 (A)のうち指	定経費	千円	0	0		-	-	_		~	/
	費	(A) 事業 (A) のうち指 (A) のうち時間	自定経費 日外、特勤	千円 千円	0	0	0	0	_	_	0	0)	
入	費人	(A) 事業 (A)のうち指 (A)のうち時間 E規職員従事	a定経費 B外、特勤 事人数	千円 千円 人	0 193	0 180	0 172	0 172	172	172	172	のみ	
入	費人生	(A) 事業 (A) のうち指 (A) のうち時間	a定経費 B外、特勤 事人数	千円 千円	0	0	0 172	0 172	_	172		0)	
入	費人	(A) 事業 (A)のうち指 (A)のうち時間 E規職員従事	音定経費 間外、特勤 事人数 寺間	千円 千円 人	0 193	0 180	0 172 17, 000	0 172 17, 000	172	172 17, 000	172	のみ記	
入量 / 件費	費 人 牛 費	(A) 事業 (A) のうち指 (A) のうち時間 E規職員従い	音定経費 間外、特勤 事人数 寺間	千円 千円 人 時間	0 193 16, 479	0 180 17, 883	0 172 17, 000	0 172 17, 000	172 17, 000	172 17, 000	172 17, 000	のみ記	0

事務事業名	支出(歳出)事務	所属部	会計	所属課	会計課

2 評価の部(SEE)

\*原則は22年度の事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

	▼原則は22年度の事後評価、ただ	レ 複数年度事業は22年度美績を踏まえての途中評価	
	①22年度目標達成度評価	☑達成した    □	]達成しなかった ⇒【原因 5
目標達成度評価	事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成 したか、未達成の場合その原因は?		
成度	②23年度目標達成見込み	☑目標達成見込みあり⇒【理由】	v
評価		例年通り、厳しく書類を審査し、財務マニュ	アルの周知徹底を図れば達成できる。
	事務事業の次年度目標値に対して次年度の見 込みはついているのか?		
	③成果の向上余地		図向上余地がない ⇒【理由 写》
+	次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる 余地はあるか?成果が頭打ちになってないか	例年通り、厳しく書類を審査し、財務マニュフ 地はない。	r ルの周知徹底を図るため、成果向上の余
有効性評価	<ul><li>④類似事業との統廃合・連携の可能性</li></ul>	□他に手段がある「」(具体的な手段、事務事業) ☑ □統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】「□ □統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】「□	団他に手段がない ⇒【理由 □
価		類似事業はないため。	
	目的を達成するには、この事務事業以外他に 方法はないか?類似事業との統廃合ができる か?類似事業との連携を図ることにより、 成果の向上が期待できるか?		
	⑤事業費の削減余地	- · · - ·	]削減余地がない ⇒【理由 写》
r.r		育児休暇中の職員の復帰により臨時職員の雇用	目がなくなるため、事業費が削減できる。
効率性評価	成果を下げずに事業費を削減できないか?(f 様や工法の適正化、住民の協力など)	E	
!評!	⑥人件費(延べ業務時間)の削減 余地		型削減余地がない ⇒【理由 写》
1曲	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか か? (アウトソーシングなど)	帳票の審査は正規職員の仕事であり、委託は 政課の審査がなくなり会計課の審査が一層重要 しい。	誰しい。また、20年度から一部を除さ財 要になってきており、業務時間の削減も難
公	⑦受益機会・費用負担の適正化余	□見直し余地がある ⇒【理由】 5	7公平・公正である ⇒【理由 写
平	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公 <sup>3</sup>	内部事務であり法により審査が必要であるた	· හ්.
公平性評価	事業の内容が一部の交流者によってはないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		
役割	⑧行政の役割分担の適正化		7役割分担は適正である ⇒【理由】 5√
役割分担評価	事業事務のやり方や手段においてこれまでの 行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体 に移行できないか?	内部事務であり法により審査が必要であるた *	र <b>४</b> ) .

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

22年度中誤った支出は現在のところ皆無であるが、会計課の審査段階で見抜けず例月出納検査で指摘を受けたものが複数 あった。会計課での審査を一層強化する必要がある。

1	今後の古向性	(事務事業担当課案)	(DIAN)
4	ラ 15 U J J I I I I T +	(事務事事相目除筌)	LPI.ANI

□廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 ☑事業のやり方改善(有効性改善)

□事業のやり方改善(効率性改善) □事業のやり方改善(公平性改善)

□現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

```	``.	コスト				
	111	削減	維持	増加		
	向上					
成 里	維持		0			
	低下					

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策